

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-218019(P2002-218019A)

【公開日】平成14年8月2日(2002.8.2)

【出願番号】特願2001-13777(P2001-13777)

【国際特許分類】

H 04 M	1/00	(2006.01)
H 04 M	1/725	(2006.01)
H 04 Q	7/38	(2006.01)

【F I】

H 04 M	1/00	H
H 04 M	1/00	V
H 04 M	1/725	
H 04 B	7/26	1 0 9 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月15日(2008.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

次に、この携帯型電話装置1の内部構成について図2を参照して説明すると、この携帯型電話装置1は、基地局との間でデータの送受信を行うためのアンテナ21と、例えば4相位相偏移変調(QPSK:quadrature frequency shift keying)されたデータを復調する復調部22と、時分割多元接続(TDMA:time division multiple access)方式等でチャネルコーディングされたデータより音声データ、オーディオデータ等を抽出すると共に送信するデータを同方式によってチャネルコーディングするチャネルコーディング部23と、送信するデータを4相位相偏移変調等の方式により変調する変調部24と、装置本体2が留守番電話に設定されたときに発信制御チャネルを用いて留守番電話設定信号を発生する留守番電話設定信号発生部25と、着信用制御チャネルより着信を検出する着信検出部26とを備える。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

オーディオ用コーディック35は、オーディオデータをサーバ装置よりダウンロードしたときに、チャネルコーディング部23で抽出されたオーディオデータが入力されたときやデータI/F34よりオーディオデータが入力されたときに、所定の形式でエンコードし、メモリI/F36に出力する。また、オーディオ用コーディック35は、I Cカード9に記録されているオーディオデータを再生するとき、メモリI/F36より入力されたオーディオデータをデコードしてオーディオ用スイッチ37を介してミキサ29、遠隔操作装置3のI/F38等に出力する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

なお、オーディオ用コーディック35は、A T R A C 3 (Adaptive TransformAcoustic Coding 3:商標)、M P E G - 2 A A C (Moving Picture Expert Group 2 Advanced Audio Coding:商標)、M P 3 (MPEG-1 Audio Layer3:商標)、T w i n V Q (Transform-Domain Weighted Interleave Vector Quantization:商標)、M S A u d i o (W M A :Windows Media Audio:商標)、O g g V o r b i s (商標)等の方式でオーディオデータをエンコードし、デコードする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明が適用された携帯型電話装置の外観斜視図である。

【図2】上記携帯型電話装置の内部構成を説明するためのブロック図である。

【図3】オーディオデータの再生中に着信があったとき通話よりオーディオデータの再生を優先するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図4】オーディオデータの再生中に着信があったときオーディオデータの再生より通話を優先するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図5】オーディオデータの再生中に着信があったとき、オーディオデータの再生を優先するか通話を優先するかを選択するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図6】オーディオデータの再生中に着信があったとき、オーディオデータを聞きながら通話をを行うときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図7】オーディオデータの再生中に着信があったとき、オーディオデータの再生を優先するか通話をしながらオーディオデータを聞くかを選択するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図8】通話中にオーディオデータを聞くときの手順を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

1 携帯型電話装置、2 装置本体、3 遠隔操作装置、4 操作面、5 スピーカ、6 マイク、7 表示部、8 操作部、9 I C カード、10 挿入口、11 データ入出力端子、12 接続端子、13 イヤホン、14 遠隔操作部、15 マイク、16 接続コード、17 表示部、18 操作部、21 アンテナ、22 復調部、23 チャネルコーディング部、24 変調部、25 留守番電話設定信号発生部、26 着信検出部、29 ミキサ、30 スピーカ用スイッチ、31 マイク用スイッチ、35 オーディオ用コーディック、37 オーディオ用スイッチ、39 コントローラ

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

